

## 研究・調査報告書

| 分類番号  | 報告書番号  | 担当     |
|---|--------|--------|
| C-139   | 12-320 | 慶應義塾大学 |
| <b>題名 (原題/訳)</b>  |        |        |
| Dealcoholized red wine decreases systolic and diastolic blood pressure and increases plasma nitric oxide:<br>ノンアルコール赤ワインは収縮期および拡張期の血圧を減少させ血漿一酸化窒素を増加させる：短報。   |        |        |
| <b>執筆者</b>  |        |        |
| Chiva-Blanch G, Urpi-Sarda M, Ros E, Arranz S, et al  |        |        |
| <b>掲載誌</b>  |        |        |
| Circ Res. 2012 Sep 28;111(8):1065-8.  |        |        |
| <b>キーワード</b>  |        |        |
| 赤ワイン、血圧、一酸化窒素   |        |        |
| <b>要 旨</b>  |        |        |
| <b>目的：</b><br>実験的研究は赤ワイン・ポリフェノールが潜在的に血圧を低くする効果を示したが、エタノールとポリフェノールのヒトの血圧に関する効果はまだ明白でない。本研究の目的は、高い心血管リスクの被験者で血圧と血漿一酸化窒素 (NO) に対しての赤ワインの成分 (アルコールのおよびアルコール以外の) の効果を評価することであった。   |        |        |
| <b>方法：</b><br>心血管リスクの高い 67 人の男性を調査した。2 週間の慣らし期間の後、一般的な背景ダイエットに加えて、赤ワイン (30g アルコール/日)、等価量の非アルコール化赤ワイン、またはジン (30g アルコール/日) 3 つの処置期間に交差臨床試験がランダム化された。それぞれの期間の介入は 4 週間であった。被験者は試験開始時にと各介入の後に、身体計測パラメータ、血圧、血漿 NO が測定された。 |        |        |
| <b>結果：</b><br>収縮期および拡張期の血圧はノンアルコール化赤ワイン介入後に有意に減少した。   |        |        |
| <b>結論：</b><br>ノンアルコール化赤ワインは収縮期および拡張期の血圧を減少させる。我々の結果からは NO を介した機序がはたらいっていることを示している。ノンアルコール化赤ワインの消費は、中等度の高血圧に最低の予防に有用である可能性がある。   |        |        |
| 本試験は、 <a href="http://controlled-trials.com">controlled-trials.com</a> に登録した：   |        |        |